

問

今後の行政見通しは

町長

多岐にわたる課題が山積

本町の行政課題は

問 今後における、現町長から見た本町の行政課題は。

町長 課題として、人口減少と少子高齢化、町内会・実践会などの地域活動の担い手不足、地域経済の活性化、脱炭素社会に向けての取り組み、地域公共交通の維持、高齢者の足の確保、老朽化した公共施設や道路、橋などの

維持更新、災害対策、国が推進するデジタル技術を活用した社会の変革の対応や高齢者をはじめとする除雪対策など、ほかにも多岐にわたる課題が山積していると思う。

本町の資源活用は

問 何も無い町訓子府と言われるほど観光資源も、ほかにめばしい資源もない中、本町での資源活用は何か。

町長 本町は農業基盤整備事業での圃場整備の結果、オホーツク管内で戸当たり経営規模が最小でありながら高い生産性を誇る農業が大きな地域の資源と考えている。

さらに試験研究機関も充実していて、北見農業試験場は農業試験研究課題の委託や農業後継者への講座開講など地域と密着した基礎研究施設となっている。ホクレン訓子府実証農場では、酪農と畑作の技術実証が行われている。高速通信技術を活用した牛の健康管理や個体識別を目的とした研究実証を取り組むほか、トラクターの自動操舵や可変施肥、ド

ローンの活用などスマート農業の実証を行う研修施設ともなっており、町外から多くの視察者も訪れ農業分野は充実しているといえる。

企業においても、味の素食品や訓子府石灰工業、特産品として、うどん、みそ、はちみつ、しそジュース、たれかつ井などもある。公共施設では、温泉保養センター、スポーツセンター、温水プール、パークゴルフ場、レクリエーション公園など多彩な魅力ある資源が存在する。

本町の「地の利」は

問 訓子府の「地の利」は何か伺いたい。

町長 人口11万人を超える北見市に隣接しており、高校、大学、専門学校などの教育機関への通学や通勤のほか、買い物や各種レジャー

施設の利用、多くの医療機関への通院など都市機能が利用できる距離に位置し日常生活上の利便性が高いことだと思う。

町長 本町の地の利を生かし、もっている潜在的な力をもっと顕在化させながらこの町を発展していただければいいと思う。終えるにあたり町民の皆さんに感謝申し上げます。

問 今後の見通し、次期町長につないでいただきたい所信を伺いたい。

町長 本町の地の利を生かし、もっている潜在的な力をもっと顕在化させながらこの町を発展していただければいいと思う。終えるにあたり町民の皆さんに感謝申し上げます。



にしもり のぶ お 議員
西森 信夫

雪が解け黒い土が見え出した
春が来た またがんばろう



課題山積 魅力あるまちづくりを

